

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人かながわアドバンスサポート

② 施設・事業所情報

名称：夜間保育所ドリーム	種別：保育所
代表者氏名：川崎 以付史	定員（利用人数）：30名
所在地：相模原市中央区淵野辺1-16-5	
TEL：042-768-2265	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 1995年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 さがみ愛育会	
職員数	常勤職員：12名 非常勤職員 6名
専門職員	保育士 11名 深夜担当保育士（派遣）1名
	栄養士 1名 調理師 2名
	事務 1名
施設・設備 の概要	保育室 3
	ロフト 1

③ 理念・基本方針

【保育理念】

主題 “いっしょっていいね”

①故郷のイメージが湧いてくるような温かさへのこだわり、そして自然環境を生かした保育空間を背景に、一人ひとりの子ども達がいきいきとした活動意欲に沿ったリアル体験を積み重ね、そこからロマンの世界へ誘導する保育を目指しています。

②インクルーシブ保育や世代交流、異年齢保育や地域活動など様々な保育の日常における重層的な関係性を通して、一人ひとりの子ども達が主体的な感覚を養うとともに協調性をベースにしたおもいやりの心を育む保育をめざしています。

【保育基本方針】

1. 養護と教育が一体となった保育を通して、家庭的な温かい環境のもとで心身ともに健康、安全で情緒の安定した生活ができるよう保障し、生きる喜びと力を育み、健やかな育ちを支える。

2. 子どもと父母のおかれた状況や意向を受け止め、一緒に考えていくという協力関係を築きながら子どもの育ちや子育てを支える。夜間のも及ぶ時間帯でも安心して働けるよう育児と仕事の両立を支援する。

3. 子育てひろば「キラキラぼし」の活動を通して、地域の人々や関係機関とともに子育てを支援し、そのネットワークにより子どもを育てる環境づくりをする。

【保育目標】

○自分で考え、行動する子ども、○人の気持ちを考え、思いやれる子ども、○いきいきと意欲的に遊ぶ子ども、○生命を大切にする子ども

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

夜間保育所ドリームは横浜線淵野辺駅又は矢部駅から徒歩7分の閑静な場所であり、運営法人である社会福祉法人さがみ愛育会〈理事長小林祐子〉の2号館3階に保育室を有しています。隣は麻布大学〈獣医学部〉 青山学院大学など文教地区です。

法人の前身は昭和6年1931年設立された「愛の園保育学校」です。その後、淵野辺保育園となり現在の法人化につながります。

都内や相模原地域に20施設職員547名を抱え、県下有数の社会福祉法人となっています。認定こども園4園、認可保育所5園、介護施設、障害者支援施設をもちます。本部の敷地は2308平米。敷地内には1号館に認定こども園愛の園ふちのべこども園〈定員295名 分園を含む〉があります。2号館3階に本園はあり、1、2階はデイサービスが使用しています。

夜間保育所ドリームは平成7年に厚生労働省が夜間保育を制度として認めた同じ年の平成7年に開設し、乳児15名 幼児15名計30名の小規模園です。

使用面積257平米、常勤保育士8名、非常勤保育士3名、派遣1名、その他6名の体制です。併設園である認定こども園との施設、設備の共有で単独ではむづかしい優れた設備、バラエティのある豊富な保育プログラムが提供されています。

【園の特徴】：福祉ステーションとしての夜間保育所

神奈川県下には夜間専門の認可保育所5か所しかない保育園の1つです。夜間働く人の子どもを預けられる施設としてベビーホテルがありますが、全国に1500か所稼働しています。

夜間保育所とはいえ基本となる標準保育時間は午前11時から午後10時まで、早朝延長保育が8～11時までの3時間、夜10時以降の深夜延長保育は12時までの2時間です。開園時間は16時間の長時間になります。

保育士の確保が課題となり、夜間保育の事業所数が増えない要因の1つになっています。ドリームは職員19名中12名の常勤職員がおります。本園の長期計画によれば淵野辺地域の飲食店の減少で深夜10時以降の利用者が減少し、深夜保育のあり方が課題となりつつあるようです。開設当時の夜働く人の子育て支援というニーズは現代でも根強く残っており、運営する社会福祉法人が「地域の福祉ステーション」という設立方針を掲げ、職員一丸となつての努力で27年間夜間保育所としての役割を維持してきました。その社会的有用性は地域には充分認識されているようです。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年10月10日（契約日）～ 2022年2月15日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（2016 年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. ヤギ・馬（ポニー）等の飼育現場を有し、体力作りのアスレティック設備を有す

ドリームの保育室がある2号館へ行く途中、木製の通路が続き、最初にヤギに出会い次に馬に出会います、そして餌を食べている豚にも会います。かなり強い匂いを放っています。言葉や映像だけの知識ではなく、直接「生」で体感することが貴重な体験となります。麻布大学の学生が飼育していて、餌箱があり、自由に餌をやってもよいようです。

2300平米の広い敷地で、空いている地上の空間は、人口芝を敷き園庭として使い、屋上にも人口芝を敷いた園庭があります。隣は淵野辺第一公園ですが、境界フ

エンスの扉を開けると直接公園に入れるという、車との出会いがない便利で安全な遊び場所になっています。市の使用許可は取得済みです。本園は都会では見られない動物の飼育現場、体力作りのアスレチック設備、思いっきり走り回れる公園など、子どもにとって、またと経験できない環境のなかでの保育がされています。

2. 剣道、英語、モンテソーリもある幅広いカリキュラム

4、5歳児はドリーム保育室から同じ敷地内の認定こども園の4、5歳クラスに編入され、こども園と同じカリキュラムで保育されます。

朝9時半から4時半まで、2名の保育士に引率され1号館へ行きます。両園とも保育理念は同じ、「主題いっしょでいいね」ですから違和感はありません。大型の認定こども園との共同カリキュラムは、必修として4種、礼儀とあいさつ、感覚統合の力を養う剣道、レッスン形式の英語を学ぶハローイングリッシュ、リズムの基本を体感するリトミック、反射性、瞬発力を養う体操保育などです。選択として今、幼児教育で話題のモンテソーリメソッドを、国際免許を持つ保育教諭が専用ルームで教えます。

英会話教室や北里大学医学生が教えるぬいぐるみ病院など、魅力的なプログラムが7種あります。これらは入園時に渡される重要事項説明書でも紹介されております。恵まれた保育を受けています。

◇今後期待される点

1. 夜間利用者減少予測の再確認を

コロナ禍の現時点では、雇用関係の不安定化もあり、夜間利用者の動向を再確認するには難しい時期にあります。落ち着いたところで、夜間利用者が本当に減少するのか、夜間利用者のニーズに沿った保育を期待します。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受審するにあたり、私達は日々の保育の在り方を見直し、保育の質の向上に取り組みました。認可夜間保育園として第三者評価を受審することにより、夜間保育園を利用する子ども達に良質の保育を提供できればと思います。

さて、評価結果を受けて感じたことは、当園が単独園ではなく併設園であるという特徴を評価されていたということです。大型動物とのふれあい、アスレチック設備での体力作りなどは、認定こども園愛の園ふちのべこども園の併設園であり、同じ敷地内にあるからこそ可能になることです。

そして、4,5歳児の幅広いカリキュラムについても同様です。日中の時間帯4,5歳児がこども園のクラスに入り、社会性を身につけるといふ施設間交流は、当園が創設当時から大切にしてきたことです。こども園はさまざまな教育活動を導入しており、そこには特定負担額（一人月額3,000円）の徴収があります。特定負担額の徴収は、認可保育所である当園では制度上できません。そこで特定負担額と同額の費用を当園が施設として負担をし、こども園に支払うことによりドリームの子どもの教育を受ける権利を保障しています。

また、今年度はコロナのため小学校との連携が進みませんでした。これからは、オンラインなどの交流も考えていきます。

今後は当園の家庭的な保育の充実を更に図ると共に、夜間保育の利用者についてのマーケティング行い、園運営に生かしていきたいと思っております。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり